

## ウパーラは眠る



小森香折／作  
三村晴子／絵  
BL 出版(2018年)

故郷を追われ、修道院にやってきた少女アイラ。しかしここも危険な場所だった。秘宝「ウパーラ」をめぐる、修道院の中の対立や王国の陰謀にまきこまれるアイラ。果たして彼女の運命は?!



## ピアノをきかせて



小俣麦穂／著  
講談社(2018年)

響音の姉の千弦は、ピアニストを目指している。千弦のピアノはすごい。けれどもこのごろ、千弦の弾く音が楽しく聞こえない。音楽って、もっと歌ったりおどったりできるものじゃなかった…?



## クレンショーがあらわれて



キャサリン・アップルゲイト／作  
こだまともこ／訳  
まめふく／絵  
フレーベル館(2019年)

ジャクソンの両親はいい人だけど、パパは病気で仕事が少ない。そんな生活に不安を感じていたある日、目の前に大きなネコが現れた！昔いた想像上の友だちクレンショー。もう消えたはずだったのでどうして？

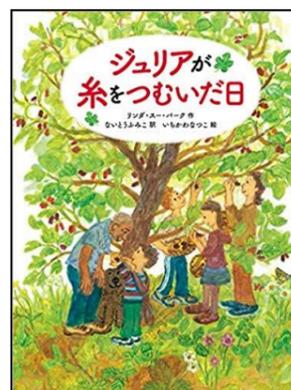


## もえぎ草子



久保田香里／作  
tono／画  
くもん出版(2019年)

時は平安時代、萌黄は親がわりだったおばと別れ、宮中に下働きをしに行くことになる。清少納言や、はなれていた父との出会いの中、萌黄は自分の生き方を見つけていく。



## ジュリアが糸をつむいだ日



リンダ・スー・パーク／作  
ないとうふみこ／訳  
いちかわなつこ／絵  
徳間書店(2018年)

ジュリアは韓国系アメリカ人。自由研究のテーマをカイコにしたものの韓国っぽくてイヤだといえないうちに、親友は研究を始めてしまう。友情はぎくしゃくするし、研究はいきづまるし、どうする?!



## ことばハンター 国語辞典はこうつくる



飯間浩明／著  
ポプラ社(2019年)

国語辞典にのっている言葉はどうやって選ばれる？街中やアニメなど、あらゆる所から文字通り狩られるのです！常に新しい言葉や意味を求めてさまよう、ことばハンターの毎日を感じてください。



## 天地ダイアリー



ささきあり／作  
フレーベル館(2018年)

木下広葉、中1。スクールカースト最下層。おまけに地味な栽培委員だし、わけあってマスクが手放せない。でもこの委員会、意外と面白かった。広葉も植物もすくすく成長中！



## 最後のドラゴン



ガレット・ワイヤー／著  
ケイティー・ハーネット／画  
三辺律子／訳  
あすなろ書房(2019年)

グリシャはこの世界で最後に生まれたドラゴンだった。仲間は魔法をかけられてどこかでねむっている。仲間をあきらめかけたとき、人間の少女マギーの友情を得て仲間を救う旅に出ることになった。

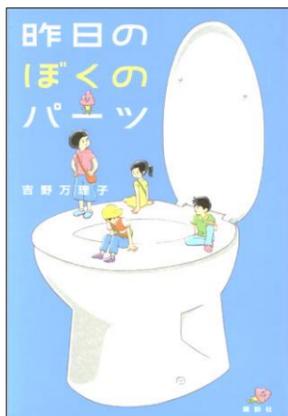


## 髪がつなぐ物語



別司芳子／著  
文研出版(2017年)

「ヘッドネーション」を知っていますか？病気で髪がない子どものために、髪を寄付するボランティアです。何年も髪を伸ばす人、できあがったウィッグを受け取る人…。それぞれの思いを追いました。



## 昨日のぼくのパーツ



吉野万理子／著  
講談社(2018年)

便秘になやむ大志は、友達にもそれぞれにおなかのなやみがあることに気づきます。相談しにくいなやみの解決に役立つのではないかと大志は友達をさそい、夏休みの自由研究として「ウン・ション問題」に取り組みます。



## レモンの図書室



ジョー・コットリル／作  
杉田七重／訳  
小学館(2018年)

ママが死んでしまったから、パパは部屋にとじこもり、ずっと本を書いている。カリプソは一人きりで、ママが遺した本を読む。そんなある日、女の子が声をかけてきて、二人は親友になるが…。



## すごいぞ！ニッポン美術 直感こども美術館



結城昌子／文  
西村書店(2017年)

なんだか不思議、なんだか変、なんだかおもしろい！そんなニッポンの美術品を集めました。縄文時代から大正時代まで、色々な時代の絵がのっています。お気に入りの作品をさがしてみてください。